

こどもたちと織り上げる

アタラシイ カタチ

新しい形

Vol.18
2026 秋



社会福祉法人
ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ

<https://atarashii-katachi.or.jp>

やまこども園 やまこども園 mimi 昭和やまこども園 鶴舞やまこども園
やまこども園 hug やまこども園 chouchou 西大寺北こども園 三笠保育園

ミライを切り拓く 大切な力 非認知能力 を育む

意欲や協調性を含む「非認知能力」は、国の幼児教育・保育の「3要領・指針」や、小学校からの学習指導要領で重要視されています。大学入試でも非認知能力を含めた総合的な力が評価され、知識を詰め込むだけの勉強では、今後ますます対応できなくなるでしょう。そこで、非認知能力研究の第一人者である中山芳一先生から、知っておいたほうがよい知識をお話いただきましたので、その内容をお伝えします。

中山芳一先生 講演会を開催しました



本年7月20日(月・祝)、中山先生を講師に迎えた講演会「子どもの未来を育む『非認知能力』とは～子どもの幸せに繋がる家庭と園でできる関わり～」を行いました。当日は、保護者の方々と職員が参加し、積極的に質問する場面も。中山先生からは「親として大切にしたい価値観を言語化しておくとういことです」などのメッセージが贈られました。

「だるまさんがころんだ」が好きな西大寺北こども園の子どもたち。ルールを守ってみんなで楽しく遊ぶなかで、自制心や社交性が養われています。



非認知能力

なぜ今、注目されているの？

チームワークが重視される時代だから
変化が多い世の中を
生き抜く力となる

さまざまな場面、チームで協力して進めることに大きなメリットを見いだすようになりました。大学入試などでは、他者の視点をもった思考が問われるようになっていきます。社会の移り変わりに合わせて、教育においても非認知能力に目が向けられているというわけです。

2020年代、私たちはコロナ禍を経験し、新たな自然災害や戦争・紛争も……。一方で、生成AIの技術は急スピードで進化・普及しています。将来の予測が難しい変化の時代に対応し、前向きによりよい人生を生きるには、非認知能力が求められると言えます。

非認知能力

って、どんな力？

非認知能力と認知能力の違いは左図の通りで、一番下の土台となる自己受容感、まずは幼児までの親子の愛着関係によって高められます。また、忍耐力があると他人に感情の変化を理解されにくいな

ど、非認知能力にはプラスの面とマイナスの面があり、プラスの面を前面に引き出したいものの、子どものプラスの面があらわれたとき、思いっきりほめて伸ばすとういでしょう。

他者とつながる力

コミュニケーション力、共感性、社交性・協調性など



眼科健診後にごっこ遊びをはじめた、やまこども園hugの5歳児たち。役割を決める際の交渉力や柔軟に対応する力、健診の真似を通して伝える力や聞く力など、幅広い力が身につきます。

自分と向き合う力

自制心、忍耐力、レジリエンス(回復力)など

さまざまな素材から好きなものを選び、自分でイメージを膨らませて作品づくりをした、やまこども園chouchouの3歳児。思い通りにいかない場面でも、諦めずに粘り強く考えて工夫を重ねた姿が印象的です。



認知能力＝ テストなど共通のものさしで評価・測定できる力
・読み書き・計算・IQ(知能指数)で測れる力など

認知能力の土台
非認知能力＝ テストなど共通のものさしで評価・測定できない力
・忍耐力・自制心・回復力・意欲
・楽観性・自信・コミュニケーション力
・共感性・協調性・社交性など

非認知能力の土台
自己受容感(深い自己肯定感)

思考力・判断力・表現力は、非認知能力・認知能力のどちらにも深く関わります。

園での実際の例

非認知能力は「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の3グループに分類できます。これらの力について、園での取り組みを交えてご紹介。

自分を高める力

意欲・向上心、自信・自尊感情、楽観性など

鶴舞やまこども園の4歳児クラスでは、バッタや蝶などの身近な生き物を観察しました。「足が6本ある!」「口はどうなっているの?」などと興味津々で、自ら関わり、知識を得たり発見を楽しんだりしています。

中山先生
教えて！

子どもの 非認知能力 を伸ばす

大人の関わり方

よしかず
中山 芳一先生

All HEROs合同会社代表。1976年、岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業。学童保育指導員として9年間在職したのち、教育方法学研究の道に方向転換して岡山大学准教授に。現在は非認知能力育成のための研修・講演・執筆活動を精力的に行う。『学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす』（東京書籍）ほか著書は多数。

3歳児クラス担任
中井 保育教諭

4歳児クラス担任
小藪 保育教諭

やまとこども園 mimi の保育教諭 2 人が中山芳一先生と対話。
子どもの非認知能力を伸ばすために大人ができることから、
子育ての悩みまで、アドバイスをいただきました。

大人の声かけ次第で
歯磨きも頑張れる！

小藪 中山先生の講演会のなかで、非認知能力は行動にあらわれ、行動で評価されるというお話がありました。幼児期は生まれつきもった氣質が行動にあらわれやすいですが、子どもが自ら行動を変えることもできるとのこと。そのため、周りの大人が子ども一人ひとりの氣質を理解したうえで、支えることが大切だと学びました。

中山先生（以下、敬称略）講演でも話しましたが、非認知能力は以前から「心」と呼ばれて大事にされてきたものです。特別な能力ではないので、なにか特殊なことをする必要はありません。例えば、歯磨きひとつでも伸ばせるんですよ。子どもが「いつもよりも丁寧に磨いてみよう」と意識して頑張るときには、自分の行動をコントロールする力が発揮されています。大人は自分の意思で行動を変

えられますが、子どもは大人の声かけによって気づくものです。

中井 私自身、子育て中なのですが、歯磨きの練習で保護者はわが子に、何と言葉をかけるとういのですか。

中山 ご褒美や楽しい感情は動機になります。やりたくないことをやる時には、子どもにとって「納得感」があることが重要です。歯磨きの必要性を説明し、丁寧に磨く経験をして納得してもらおうわけですが、子どもにとってわかりやすい方法を取り入れる必要はあります。「砂時計のお砂が全部落ちるまで磨こうね」と伝え、歯垢着色液を使うのもよいでしょう。

中井・小藪 歯磨きの時間も効果も、目に見えるとわかりやすいですね。
中山 それから、押しつけにならない

よう、歯を丁寧に磨くきっかけを与えたあとに繰り返し教えるのは、3日に1回くらいのペースで十分だと思います。

子どもが失敗したとき
どう対応するのがベスト？

小藪 園では子ども一人ひとりが主体的に遊べる環境を整えているのですが、保育者がどこからどこまで援助したらよい

のか、正直迷うことも……。非認知能力の観点から子ども主体の保育について、どのようにお考えでしょうか。

中山 一斉型と自由型保育のハイブリッドである子ども主体の保育は、今こそ進めるべきです。主体性は非認知能力のひとつで、武道や茶道の世界で使われる言葉「守破離」というプロセスで発揮していけると考えています。「守」とは、型や教えを学び、基本を習得すること。「破」とは、応用や改善を加えて、自分なりに発展させること。「離」とは、さらに練り上げて、独自性を確立することです。園の様子を拝見し、一斉保育と自由保育のバランスがよく、子どもたちがルールを確認したうえで、のびのびと活動していました。先生方の関わり方も、うまくできていると思いました。

中井 心強いお言葉をありがとうございます。ところで、子どもが失敗したときの方々は多くいらっしゃいます。子どもには、失敗を乗り越えて成長していく力を身につけてもらいたいものです。そのため、親が心がけたほうがよいことについても教えてください。

中山 私は、例えばわが子が転んだとき、とっさに手をついて自分の体を支えようとしたら、防御反応をほめて笑い飛ばします。ちなみに、小さい子どもが転ぶのは当たり前ですから、転ぶ前に親が「転ぶよ」と大声で注意するのは、私に言わせれば親の自己満足ですね。



非認知能力を育むには、子どもに「今日はどうだった？」とたくさん聞いて振り返りを促すのもよいそうです。

押しつけと思い込みには
できるだけ気をつけて

小藪 非認知能力は大きく3つに分けられるとのことでした。

中山 幼児期は楽しい感情が込み上げたら、非認知能力の「自分を高める力」も「自分と向き合う力」も、ナチュラルに発揮しやすいと言えます。思いやりの心を持って「他者につながる力」は、当然ながら仲間と協力する経験によって身につきます。先生方は子どもたちの活動を見守り、「〇〇ちゃんに上手に声をかけたね」などとすぐにフィードバックを。また、友だちに共感できずに活動が止まってしまっている場面では、先生の考えを押しつけないように気をつけましょう。「いろんな考え方があって」と伝え、「試しにこうやってみる？」など聞いてほしいと思います。

中井 最後に、保護者のみなさまへのメッセージをお願いします。

中山 子どもの癖や行動に不安を募らせることもあると思いますが、その原因は親の推測とはまったく違うかもしれません。また、羞恥心が芽生えたら、自ら人前ではやらない癖もあります。子育て中は子どものことを一生懸命に考えるあまり、どうしても視野が狭くなってしまうものです。なるべく多面的に考え、長い目で見るように心がけるとよいのではないのでしょうか。

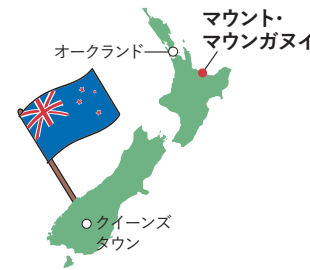
中山先生が
保育活動を見学！

やまとこども園mimiの様子をご覧になった中山先生。子ども一人ひとりに丁寧に関わる様子や掲示物、栽培活動などに興味を示され、温かいお言葉もいただきました。



ニュージーランド親子留学

「毎日英語で過ごすリアルな体験」をしました！



マウント・マウンガヌイ小学校の前で、現地の先生と参加者一同で記念撮影。



授業では、グループワークや調べ学習のプロセスを重視。先生もBuddy(仲間)も、園児の表現に興味津々でした。



民族衣装に身を包んでバシャリ！参加した中学生は「楽しい体験を通して、マオリ族のことを知れたのがよかった」とのこと。



ニュージーランドでは一般的なMorning Teaの様子。戸外で各自が持参したフルーツやおやつを食べながら、和やかに談笑。

参加者の声

森本ファミリー

「BuddiesのLunchは、外で食べやすいワンハンドフード中心。異文化を体感し、人々のやさしさにもふれた素敵なひとときでした」



吉川ファミリー

「園と現地小学校の先生方による親身なケアのおかげで、娘は楽しそうに登校。アクティビティも充実していて、親子でよい刺激を受けました」



現地で学校生活を送りながら深い友情を育みました

本年8月に実施した第1回目の「ニュージーランド親子留学」には、園児と小中学生の姉妹を含む2組の親子が参加。子どもたちは提携するマウント・マウンガヌイ小学校に5日間通い、日本とは異なる教育や生活を体感する貴重な機会となりました。初登校日には、先住民・マオリの伝統的な儀式で歓迎を受けた参加者たち。キーウィ（ニュージーランド人）の素敵な歌と力強い踊りを見て、一気に留学の実感がわいたようです。クラスでの授業や親子体験活動などを通して、現地の人たちと盛んに交流しました。特に子どもたちのあいだに少しずつ友情が生まれ、言葉や文化の違いをこえて深くつながっていく様子は感動的で、うれしいできごとでした。

ある1日の流れ

- 8:30 小学校に登校し、授業に参加
 - ★マオリの伝統衣装を着る体験
 - ★マオリの歌とダンスの体験
- 11:00 Morning Tea
- 11:30 授業に参加
- 13:00 Lunch
- 14:00 授業に参加
- 15:00 下校後、ロトルアへ遠足
 - ★ゴンドラとリュージュ（カート）乗車体験
 - ★Dinner

※★印は親子参加の体験活動です。
毎日8:30～15:00が学校生活で、3日間は15:00以降 Free Timeに。もう1日は、下校後に参加者全員でホットプール・ミニゴルフ体験とディナーを楽しみました。

次の親子留学は、2027年2月下旬～3月上旬頃に実施予定です

社会福祉法人アタラシイカタチ 理事会報告

令和8年2月

令和8年2月20日に昭和やまともども園において理事会を開催し、理事長 生田宏史が理事及び監事に対して理事会の決議の目的である事項についての提案を行い、当該提案について、左記のとおり理事及び監事から承認を得たことを報告します。

理事会の決議内容

第1号議案 令和8年度予算(案)並びに事業計画(案)について、原案どおり承認されました。

第2号議案 各種規程の制定について。リファラル制度は支給条件を正規職員と常勤パートの採用とし、非常勤パートの採用では、紹介者に支給する金額を寸志程度に見直すことで承認されました。就職支援金制度は支給条件を明確にして、次回理事会で追加審議することとなりました。

第3号議案 鶴舞やまともども園の認可申請について。公私連携幼保連携型認定こども園から幼保連携型認定こども園に変更する認可申請を行い、また利用定員は1号認定55名、2号認定と3号認定合計120名とする

ことが承認されました。

第4号議案 園長の選任について。やまともども園hug園長の退任に伴い、令和8年4月1日付で森川仁美をやまともども園hug園長に選任することが承認されました。

第5号議案 評議員会の開催について、原案どおり承認されました。

第6号議案 三笠保育園のプール解体と園庭工事について、原案どおり承認されました。

報告事項 令和7年度 社会福祉施設に対する指導監査の結果について、報告がありました。

令和8年3月

令和8年3月27日に理事長 生田宏史が理事及び監事に対して、理事会の決議の目的である事項についての提案を行い、当該提案について、令和8年3月31日に理事全員から書面による同意の意思表示及び監事全員から異議のないことを得たことを報告します。

理事会の決議内容
第1号議案 西大寺北こども園の定員変更について。令和8年

4月1日付で、西大寺北こども園の認可定員及び利用定員を59名から74名に変更することが承認されました。

第2号議案 評議員の辞任について。井村享史評議員が同法人園長に就任のため、令和8年3月31日付で井村評議員が辞任することが承認されました。

第3号議案 園長の選任について。やまともども園mimi園長の異動に伴い、令和8年4月1日付で井村享史をやまともども園mimi園長に選任することが承認されました。

第4号議案 各種規程の制定について。リファラル制度並びに就職支援金制度の支給条件について、提出資料のとおり承認されました。

第5号議案 旅費規程の改定について、提出資料のとおり承認されました。

第6号議案 檀原市公有財産使用貸借契約について、提出資料のとおり承認されました。

第6号議案 檀原市公有財産使用貸借契約について、提出資料のとおり承認されました。

社会福祉法人アタラシイカタチ 事業報告

(1) 保育事業

令和7年度の保育事業の利用者数の状況は、概ね順調に推移し、予定人数を確保できました。現状の日本社会における働き手不足のなかでの保育教諭の確保は、運営上の重要な課題のひとつでもあります。すべての園で働きやすい職場づくりと子ども主体の保育に取り組む「保育を楽しむ」「こどもファースト」の理念のもと、年間通して教育・保育内容の充実を図りました。

(2) 国際バカレア(IB)

PYP導入事業

5つのこども園で国際バカレア(IB)のPYP(プライマリー・イヤーズ・プログラム)の認定校になるための取り組みを進めており、やまともども園・やまともども園mimi・やまともども園chouchou・鶴舞やまともども園・西大寺北こども園の5園がPYP候補校となっています。令和7年度やまともども園mimiで認定プロセスのコンサルテーション

(3) 地域子育て支援センター事業

地域子育て支援センター事業の状況については、子育て広場「鶴舞やまともども園」と子育て支援センター「やまともども園chouchou」の利用者が順調に推移しました。

(4) 一時預かり事業

一時預かり事業については、利用者は平年並みに推移しました。

第1回

Keyword

教えてくれた先生

親子にオススメ！ ふれあい運動遊び

三笠保育園の子どもたちに協力してもらい、たっちゃん先生に体を使った遊びを教えてもらいました。言語の発達を促し、身体の動かし方や力の入れ方も自然と身につきます。うちでのくつろぎ時間に試してみてもいいです。

西本達郎(たっちゃん)先生

三笠保育園と昭和やまこども園で実施中の「わんぱくキッズ体操教室」を運営。中高一貫校の英語教員や、250園以上で親子遊びや体育指導を経験。ふたりの子どものパパ。

「愛着形成」

子どもはスキンシップを通して親からの愛情を感じ、安心感や自己肯定感の土台となる愛着を形成していくもの。愛着関係が築かれた安全な居場所があることで、子どもの心は安定し、次のステップへと挑戦することができるのです。

幼児向け

大人の木をぐるり

乳児向け

やさしくTouch

子どもの目を見て、「おててタッチ」「あんよタッチ」「お耳タッチ」などと楽しく言いながらふれる。続けて『一本橋こちょこちょ』を歌い、お腹やお尻を少しくすぐってスキンシップを。



おててタッチ

手足Move

バンザイ



自転車こぎこぎ〜



1

大人は足を肩幅に開いて腰を落とす。子どもは大人の胸に飛び込み、大人の首に手を回してしがみつく。

子どもが落ちても支えられるように準備しておく！



2

大人は上半身を前に倒して、大木のように体を安定させる。子どもは大人にしがみつきのまま背中を回り、胸まで戻る。子どもを抱っこしてから下ろす。

背中まで回れた！



ぶらんぶらん〜

ご褒美

「大人の木をぐるり」を頑張ったご褒美として、最後に子どもの両脇を支えて、全身を左右に大きく動かす運動を組み合わせるのもいい。



現在、社会福祉法人 アタラシカタチでは一緒に働く仲間を募集しています。新卒、キャリア採用(転職・復職をご検討の方)、実習、ボランティア、施設見学の受付を行っておりますので、右記ホームページのお問い合わせフォームもしくはお電話にてお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 アタラシカタチ <https://atarashii-katachi.or.jp>

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町 145-1

やまこども園内

採用担当：やまこども園 chouchou 園長 木下 (TEL. 0743-59-4141)



HP



Instagram